

令和 6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・事業所の特徴	在宅サービスに位置づけられた「通い・訪問・宿泊」を、職員が一貫して行える小規模多機能型サービスであり、ご利用者が在宅生活を続けられるよう、ご自身の残存機能を継続して行える事に留意した対応を心掛けております。
事業所名 (都築区)	小規模多機能型居宅介護 すいせん	管理者	森本 達也		

出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		1人			連絡済だが参加不可の連絡あり不参加。	1人	連絡済だが参加不可の連絡あり不参加。	1人		3人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の仕組みを活用する為、毎月のMTで自己評価を取り組んでいく。 アセスメントシートを改良し、情報はそれぞれに集約する。 	毎月のミーティングでの自己評価についての話し合いに不足を感じましたが、初期利用時に必要な情報として、ご利用者が「～したいこと」をアセスメントシートに盛り込み、個別に聞き取りを行いました。	<ul style="list-style-type: none"> 良く取り組まれている所見である。(参加頂いた近隣小規模事業所職員より。) 準職員の方の意見もしっかり確認出来ていた。 	各項目で設定した、「次回までの具体的な改善計画」について、実施状況の把握を図る為、途中経過会議を実施する為に、間計画の中に盛り込んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、内外観の環境整備を定期的に確認していく。 	内装に関しては、ご利用者とともに飾り付けや飾り作成などのレクリエーションを行い、季節感を出す工夫をしました。	<ul style="list-style-type: none"> 全体的にかわいらしく行っている。 ご利用者も交えて作成出来ている点が良いと思われる。 夏祭りの際に神輿を作成していたことが良く、印象的であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、内外観の環境整備を定期的に確認していく。 外部向けの事業所開放日を設けていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地域の活動に関しては積極的に参加していく。(近隣ケアプラザ活動、近隣フェスティバルの参加とご利用者の案内) 	近隣のケアプラザの活動には率先して参加しましたが、参加した職員は主に管理者またはケアマネージャーとなってしまいました。ご利用者には、夏祭りや近隣のフェスティバルへの参加をご案内しました。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動やイベントには、登録ご利用者を良くお連れしている印象である。(地域包括支援センターからのご参加者より) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地域の活動に関しては積極的に参加していく。 近隣ケアプラザの活動にも参加を促していけるよう調整していく。(近隣ケアプラザ活動、近隣フェスティバルの参加とご利用者の案内)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、近隣のインフォーマル資源の活用を計画し、ご利用者の精神面の活性化を図る。 	近隣のコンビニエンスストアでのお買い物や、演奏会、レストランなどの飲食店へのご案内を、これまで継続して行ってまいりました。	<ul style="list-style-type: none"> 近隣ケアプラザで開催されている活動へ参加を、より促してはどうか、(体操サークルや、認知症カフェ等。) 	<ul style="list-style-type: none"> インフォーマル資源についての見識を深めていき、現在よりも活用していけるよう促し、ご利用者の地域との繋がりを増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民代表の方を会に招く事と、事業所のミーティングにおいて課題として出たご利用者に関する内容を運営推進会議で共有していく。 	ご家族の方にもご参加いただけました。また、事業所のミーティングにおける課題を運営推進会議で共有することについては、意識づけが必要であると感じました。	運営推進会議と、事業所の連携性を高める事により、相互がより、価値のあるものになると考える為、実施していくように。	今回の総評内容について会議で報告、共有し、活動に繋げていくと共に、活動の進捗は、毎回の運営推進会議でご報告とご相談をさせて頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> まずは、事業所の災害時業務継続計画の共有を行う。 地域と相互に訓練を計画していく。 	災害時業務継続計画は職員間で共有し、消防署の地域担当の方をお招きし、消火器の使用方や心肺蘇生法についてご指導いただきました。ご利用者にもご参加いただきました。	<ul style="list-style-type: none"> 前回防災訓練は良く行っていた。 前回の防災訓練では行われていなかったが、避難した後の、当日通いご利用者の氏名を点呼してはどうか。(当日の名簿を持ち出して行う) 	年間2回を防災訓練と設定し、外部からのご指導も頂きながら連携を図っていく。また、活動内容は、地域会議で報告していく。